

和歌山県でも

20件の不正取得が発覚!

戸籍謄本・抄本、住民票の不正取得事件が昨年11月に発覚した。

東京都内のプライム総合法律事務所(以下、プライム社)に関連した司法書士や元弁護士など5人が戸籍謄本などの不正取得で愛知県警に逮捕された事件である。プライム社は仲介者を通じて全国各地の探偵社や調査会社から依頼を受けて不正取得を繰り返し、その

背景には、いまだに結婚や就職のときに身元調査をおこない、出身地や国籍などで相手を判断する差別意識や悪しき社会的慣習が存在しており、その根は深いといわざるをえない。

今回の不正取得では、20件(和歌山市、橋本市、御坊市、有田川町、由良町、紀美野町、串本町)の戸籍謄本や住民票が不正取得されていたことが明らかになった。また、4年前の三重県の行政書士の事件でも7件が本人の知らないうちに不正取得されていた。これら不正取得事件にたいして和歌山県行政や、市町村行

政にとりくみの強化と「本人通知制度」の導入を要請してきた。結果、3町(湯浅町・広川町・有田川町)で事前登録型の「本人通知制度」が導入されたが、27市町村が未実施である。

各支部は、当面の行動として市町村に「プライム総合法律事務所 司法書士 佐藤隆」名で請求され、交付した戸籍や住民票の情報開示させるとりくみを強めなければならぬ。さらに「本人通知制度」の導入

長期的な復興支援活動を!

4月6、8日、岩手県大船渡市を中心に、中央青年運動部の声かけによる「東日本大震災復興支援行動」がおこなわれ、全国から24人が結集、和歌山県連からは事務局2人が参加した。支援行動の中心となるサンアンドレス公園では、今年5月4日、5日に地元のみならず、県外からも人が集まってくることに

ちづくり復興支援プロジェクト「けせんふえす2012」ここからはじまる第一歩」がひらかれる予定で、未来の輝く故郷を創造するための第一歩として、被災地における人びとの心の元気を支える一助となることを願うとともに、県外からも人が集まってくることに

を早急に市町村に実施させることが必要である。そのうえで、身元調査がなんのためにおこなわれているのか、実態を解明するよう政府関係機関や警察に強く迫っていくことが重要である。

背景に存在する差別的身元調査の実態を明らかにすることは「同和行政は終了した」という政府や自治体の姿勢をただすために重要だ。プライム事件は、部落地名総鑑事件に匹敵する深刻な身元調査事件である。

よって災害の風化防止、交流人口の増加、地元への経済効果が期待されている。

大船渡市は、岩手県南部の太平洋沿岸地域に所在する人口4万人ほどの市で、沖合には、「世界三大漁場」のひとつである北西太平洋海域(三陸漁場)が広がり、複雑に入りくんだリアス式海岸が広がっている。沿岸部に位置するため、東日本大震災では大津波によって甚大な被害を受けた。

復興支援行動1日目は、NPO「人権センターHORIZON(ホライゾン)」片岡遼平さんの案内のもと、気仙沼市、陸前高田市の視察をおこなった。

気仙沼市は、津波の被害、さらに重油漏れから大規模な火災が発生し、甚大な被害を受けた地域である。街中には、いまだに打ち上げられた500トンの大型船が横たわり、津波の恐ろしさ、威力をまざまざとみせつけている。

地震と津波から逃れ、やっと生き延びたと思った矢先に、広がる火災の炎に包まれ、命を落とした人も多かった。東南海・南海地震が近い将来必ずくると予測されている私たちは、この津波火災というこれまで着目されていなかった被害について知るべきである。

つづく陸前高田市では、ことさら被害が大きく、町ひとつが完全に消滅していた。そのなかで道路などのライフラインの瓦礫の撤去はすすんでいるが、倒壊した建物に車が突っ込んだまま放置され、一か所に集められた瓦礫は山積みのものである。

翌日からは、大船渡市のサンアンドレス公園の整備を手伝った。イベント以外にも市民が憩う場となるよう、津波で破壊された公園の土砂や瓦礫などを撤去した。また、地元の人たちとの交流会では、避難場所か

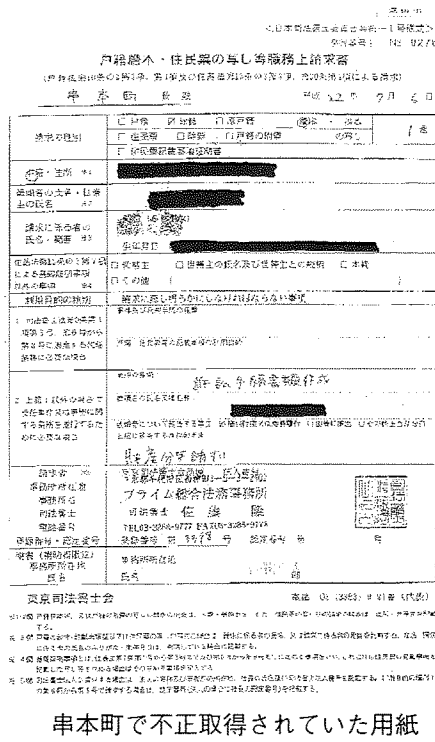
ら撮影した津波の映像が流れ、建築物だけではなく、なにもかもが津波にのまれていくようすが写っていた。今後とも被災地のニーズに応じた長期的復興支援活動を続けていかなければならない。

いまだ山積みのもまとなっている瓦礫



今後の日程

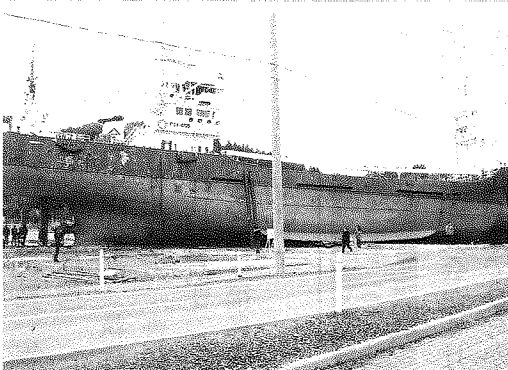
- 5/1 差別糾弾闘争本部会議 (新宮支部事務所)
- 5/7 萬民平等差別戒名追善法要 (高野山大伽藍金堂) 差別街宣に対する損害賠償請求第4回口頭弁論 (奈良地方裁判所)
- 5/8 拡大県委員会 (同和企業センター)
- 5/12~14 復帰40年 沖縄平和行進 (沖縄)
- 5/12 湯浅支部女性部定期大会 (湯浅町総合センター)
- 5/13 第33回青年部大会 (同和企業センター)
- 5/13~14 全国高校生活動者会議 (三重県総合文化センター)
- 5/15 県共闘会議第4回幹事会 (県連事務所)
- 5/19~20 第57回全国女性集会 (佐賀市文化会館)
- 5/20 新宮支部定期大会 (下田隣保館)
- 5/23 狭山ピラ統一行動
- 5/25 和歌山県職員労働組合定期大会 (プラザホープ)
- 5/26 善明寺支部定期大会 (善明寺児童館)
- 5/26 古和田支部定期大会 (いこいの家)
- 5/26~27 第56回全国青年集会実行委員会 (チサンホテル博多)
- 5/27 第36回女性部定期大会 (同和企業センター)
- 5/30 第10回和歌山人権研究所総会 (プラザホープ)



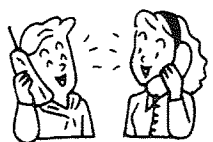
串本町で不正取得されていた用紙

復興支援行動1日目は、NPO「人権センターHORIZON(ホライゾン)」片岡遼平さんの案内のもと、気仙沼市、陸前高田市の視察をおこなった。

気仙沼市は、津波の被害、さらに重油漏れから大規模な火災が発生し、甚大な被害を受けた地域である。街中には、いまだに打ち上げられた500トンの大型船が横たわり、津波の恐ろしさ、威力をまざまざとみせつけている。



支局からのお知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部のとりくみを積極的に紹介していきたいと思っております。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。

(発送先) 〒640-8314
和歌山市神前405-3
部 解放同盟県連合会内
宛 解放新聞和歌山支局宛